



リポーター

田口和子さん(北入曾在住)

市民の皆さんにリポーターになっていただき、市内の施設や市の事業をご紹介します。



大きな包丁で切るのは少し怖かったけど、地域の方に教えてもらって、おいしいうどんができました

子どもから大人まですべての方に公民館を利用してもらいたい。昨年度から学校が週5日制になり、子どもたちは家庭や地域で活動する時間が増えました。ところがその後、近所で子ども同士が遊んでいる姿をあまり見かけません。今子どもたちは、休みになった土曜日の時間をどんな風に過ごしているのでしょうか？

今回は、学校週5日制に対応するため、土曜日に地域での活動と交流の場を提供することや公民館利用サークル・団体の日ごろの成果を子どもたちに伝えることを目的に人間公民館が行っている「こどもまつり」に参加して話を伺いました。



子ども達は、紙芝居やお手玉など昔の遊びを新鮮に感じていました

杉本館長は、このまつりを通して、地域の子どものみならず、近所の子どものみならず、に会ったらお互いが自然と声を掛け合える地域であってほしい」と話してくれました。実際、このまつりに来たことが公民館を利用するきっかけとなり、文化祭などに参加しはじめた子どもたちも増えていくのだそうです。

「このこどもまつりは公民館主催の講座や利用サークル・団体や企業などによる交流や教室、あそびなどを公民館を一日貸し切りに行っています。当日は、うどんやパン作り、ホームページ作成教室などの公民館の主催講座、かるめ焼き、缶バッジ作りなどの、あそびの広場やお手玉、竹とんぼなどの「昔の遊びのコーナー」など模擬店も含め、たくさん催しを行い、参加した学校や学年が違っても子どもたちは、多くの大人たちとの触れ合いの中で、よく遊び、よく学んだ一日になりました。

今、市内の公民館でも小・中学生の健全育成のために、さまざまな事業が行われています。休日に行われていくのだから、休日に何をしたいか悩んだとき、楽しくて役立つ催しや講座をお近くの公民館で探してみたいかどうかがどうか。

オピニオン

皆さんの「声」をお寄せください。

財政状況や行財政改革プランなどの情報を

分かりやすく、正確に知らせてください

私は、広報さやまの「市長随想」と「人」のコーナーが好きで必ず読んでいます。紙面に登場する元気に活躍している人たちから、私自身も元気ももらっています。

花が大好きな私だから感じたのかもかもしれませんが、11月10日号のコスモス畑で遊ぶ子ども達の表紙写真を見て、「カラーだったらきれいだったのに」と思いました。広報紙から色が消えて何となく寂しく感じますが、市長随想で市の財政が切迫し、市長自らの給料削減をはじめ、使用料や手数料など、さまざまな事業を見直さなくてはならない状況になってきていることを知り、仕方のないことだと痛感しました。

また、こんなにも市の財政が厳しい状況にあることを今回の広報紙ではじめて知りました。11月25日号の特集では財政健全化のための行財政改革プランの具体

的な取り組みが示されました。これからさまざまな見直しが行われることでしょう。しかし、市民サービスの低下につながる安易な見直しには、私は反対です。今後はいままで以上に、私たちに財政の状況や見直しの具体的方法などの内容を正確に、そして分かりやすく広報紙などで知らせてもらい、みんなが納得できるようなかたちで事務を進めてください。そうすることで、私たち市民ができること、やらなければいけないことを考えることができ、これからの市の取り組みを理解し協力できると感じました。

塩谷哲子さん(北入曾在住・70代)

市からの回答

市では、広報さやま11月25日号でお示したように、市の厳しい財政状況を立て直し、将来にわたって市民サービスが持続できるように、行財政改革プランに基づき、市長を先頭に全庁で取り組んでいきます。それには市民皆様のご理解とご協力が不可欠です。お寄せいただいたように、これから行財政改革の進行状況など、さまざまな情報を広報紙やホームページなどで、図や表などを使い分かりやすくお知らせしたいと考えています。

担当:行財政改革プロジェクトチーム・広報課



AET corner

Rachelle Withell・柏原中学校勤務

December in New Zealand is great. It is time when the school year ends, everyone is busy doing their Christmas shopping and looking forward to their summer holidays. Many families head off for a camping holiday, or to their "baches"; a very simple summer house. Others just relax at home. Wherever you are in New Zealand though, you will always see or hear the phrase "slip slop slap and wrap." This means "slip on a tee-shirt, slop on the sunscreen, slap on a hat and wrap on sunglasses." This is for protection against the harsh New Zealand sun (Also true for Australia.) Here in Japan, many of us will hopefully be slopping on the sunscreen on a ski field somewhere in Nagano!

Have a merry Christmas everybody and be sun-smart wherever you are.

ニュージーランドの12月はすてきです。学校が終わり、みんなクリスマスの買い物に忙しく、夏休みを心待ちにしています。多くの家庭がキャンプに出かけるか、海辺の夏の家に出かけます。そのほかの人たちは家庭でくつろいでいます。この時期のニュージーランドでは、どこにいても、「着よう、塗ろう、かぶろう、かけよう」という言葉を見たり聞いたりします。それは、「Tシャツを着る、日焼け止めを塗る、帽子をかぶる、そしてサングラスをかける」ということを意味します。これはニュージーランドの厳しい紫外線から身を守るためのものです。(オーストラリアでも同じことがいえます) 冬の日本では、長野などのスキー場で日焼け止めを塗るくらいでしょう。

皆さん、どこにいても紫外線には気をつけましょう。そして、楽しいクリスマスをお過ごしください。

<ラシエル・ウィッスル>(英文の要約)



日本野鳥の会の指導を受ける児童たち

●野鳥とふれあう学校
全校児童でバードウォッチング
毎年、笹井ダム周辺でバードウォッチングを行います。図鑑やインターネットで鳥の種類や生態を調べたり、野鳥とのふれあいの中で、自然の大切さを学んでいます。

●地域に根ざし、地域に学ぶ学校を目指す
総合的な学習の時間では、地域に学習素材を求め、地域と連携して、伝統的な笹井豊年足踊りやお囃子、うどん作りなどを体験する中で、地域の文化を学んでいます。



発表会で豊年足踊りを披露する児童

学校自慢

笹井小学校